

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋湿原		基本目標	文化財の保護と活用			
担当課(局)・係	社会教育課	文化係	記入者	小澤 宏之	評価者	三嶋俊宏	開始年度 H16 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 湿原と来場者 意図・目的 貴重な自然環境と希少な植物・昆虫類を保護し、広く一般に公開し、郷土の自然を愛護する。							
事業の内容	・高鍋湿原の環境保全と植物・昆虫類の保護のための除草・環境整備作業。 ・高鍋湿原の植物・昆虫類について現地解説							
22年度決算額	1,404	千円	23年度予算額	2,055	千円	事業従事者数	H22 0.35 人 H23 0.40 人	
主な支出項目	報償費	748	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	2,519 千円
	需用費	168	千円	県支出金		千円	23年度人件費	2,855 千円
	役務費	10	千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)	99.7 %
	委託料	478	千円	一般財源	2,049	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください	
			千円	その他	6	千円		
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名				
	補助交付団体			補助金要綱				
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額	円 終期 年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等			
		補助の割合	#N/A	%				
繰越額		#N/A	円					

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 湿原の環境維持	湿原の環境を維持し、良好な状態で将来へ継承する。	
	2 湿原の一般公開	湿原を一般公開し、希少な植物や昆虫類等についての観察の機会を提供する。	
	3 来場記入者数	来場アンケートへの記入者数(来場総数のうち記入者数は、約3割程と推測)	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 湿原除草・清掃作業	湿原の環境を維持するために除草作業及び周辺環境整備作業	
	2 観察ガイド活動	湿原見学の団体等に対し、湿原を案内し、植物や昆虫類の解説をおこなう。	
	3		

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度	
成果指標	湿原の環境維持	目標値	100	100	100	
		実績値	90	90		
		達成率	%	90.0%	90.0%	
	湿原の一般公開	目標値	日	214	220	220
		実績値		223	178	
		達成率	%	104.2%	80.9%	
	来場記入者数	目標値	人	4,200	4,200	4,200
		実績値		6,008	3,707	
		達成率	%	143.0%	88.3%	
活動指標	湿原除草・清掃作業	目標値	日	290	230	230
		実績値		222	250	
		達成率	%	76.6%	108.7%	
	観察ガイド活動	目標値	回	30	30	30
		実績値		28	8	
		達成率	%	93.3%	26.7%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	高鍋湿原	担当課(局)	社会教育課
-------	------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性) ・貴重な昆虫・湿性植物の生息地であり、町が保護活動の主体となるべきもの。 ・湿原の一般公開により数多くの来訪者があり、自然に触れ合う場として好評を博している。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適応しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性 ・通年にわたる細密な維持管理作業により、湿原の形態と植物が良好に保存されている。	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性 ・良好な湿原環境が維持されている。・県内でも貴重な植物が多くみられる湿原として、来訪者の満足度も高い。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	-
協働性 ・高鍋湿原ボランティアの方々の協力を得て、湿原の保護活動・観察ガイドが行われている。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1	-
合計(最高18点)		16	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益平性) ()	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
	◎町民の理解が得られる事業であるか		-
合計(最高4点)		0	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	今後の方向性	今後の方向性			
		拡充	現状維持	縮小	廃止
◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	環境整備の大半をボランティアに依存していたが、そのボランティアも高齢となり、また、その後継者もない状況となった。今後は、ボランティアに頼ることない管理方法の検討が必要である。				○
		コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎貴重な施設であるので、多少のコストアップをしてでも後継者の育成が急務である。 ◎湿原の永続的な保全管理を図るためには、町主体で管理できる体制整備が必要である。 ◎維持経費の確保手段(収入)はどうしていくか、報酬や賃金等必要な経費を支出せざるを得ない状況が推察されるので、今後の予算措置を含めた計画が必要である。 ◎高鍋湿原は、高鍋の名所として定着しているものであり、今後も保護していく必要
	コスト	拡充	
	委員評価	-	
	外部評価	-	